

被災者模擬装置 使用者手引き (第2版)

福島ロボットテストフィールド

令和 5年 3月 15日

改訂履歴

版	施行日	内容	作成
1	令和4年3月17日	新規作成	技術課 副主任 三枝芳行
2	令和5年3月15日	新フォーマットへ変更	技術部 副主任 三枝芳行

目 次

1. 機器概要	1
1.1. 基本情報	1
1.2. 保管場所	3
1.3. 使用事例	3
1.4. 機器構成	3
1.5. 機器詳細	4
2. 使用上の注意点	4

1. 機器概要

1.1. 基本情報

基本情報のリストを下記に示す。

名称	被災者模擬装置
エリア	開発基盤エリア（南相馬）
メーカー名	日本スリーバー・サイエンティフィック株式会社
メーカー型番	W44511
導入年	2018年
仕様	
主要諸元	材質:高耐久プラスチック製、金属部品(関節) 体重：25kg 身長：165cm
飛行可能エリア	-
施設に含まれる設備、機器	-
保存データの形式・アウトプット	-
事前に用意いただく必要のあるもの	-
使用に必要な免許・資格	-
利用上の注意	-

基本情報(続き)

貸出単位	1体
貸出可能な数	2体
使用料金	
1時間につき(昼間)	-
1月につき	-
全日	-
午前・午後	¥400
1時間につき(夜間)	-
夜間	¥400
超過(1時間につき)	¥90
問合せ先	福島ロボットテストフィールド 技術課 TEL0244-25-2476

備考

(1) 使用単位の「午前」、「午後」、「夜間」、「全日」、「超過時間」は次のとおりです。

◎午前：9時～13時

◎午後：13時～17時

◎夜間：17時～21時

◎全日：0時～24時

◎超過時間：0時～9時まで及び21時～24時までの間の1時間

(2) 次のいずれかに該当する場合には、使用料と同額を加算します。

① 営利の目的で入場料、受講料、会費等を徴収して行事を開催するとき

② 商品販売、商業宣伝等の営利的性格を有する行為のために使用するとき

(3) 準備のために使用する場合には、使用料を70%に減額します。

(4) 日をまたいで2日以上継続使用する際、展示物や器材等の保管のためであれば、夜間～早朝の使用料は徴収しません。

(5) 施設に含まれる設備、機器において(★)マークのついたものは、使用時に別途費用が発生します。詳細は対応する使用者手引きを参照ください。

1.2. 保管場所

屋内試験場(2体)



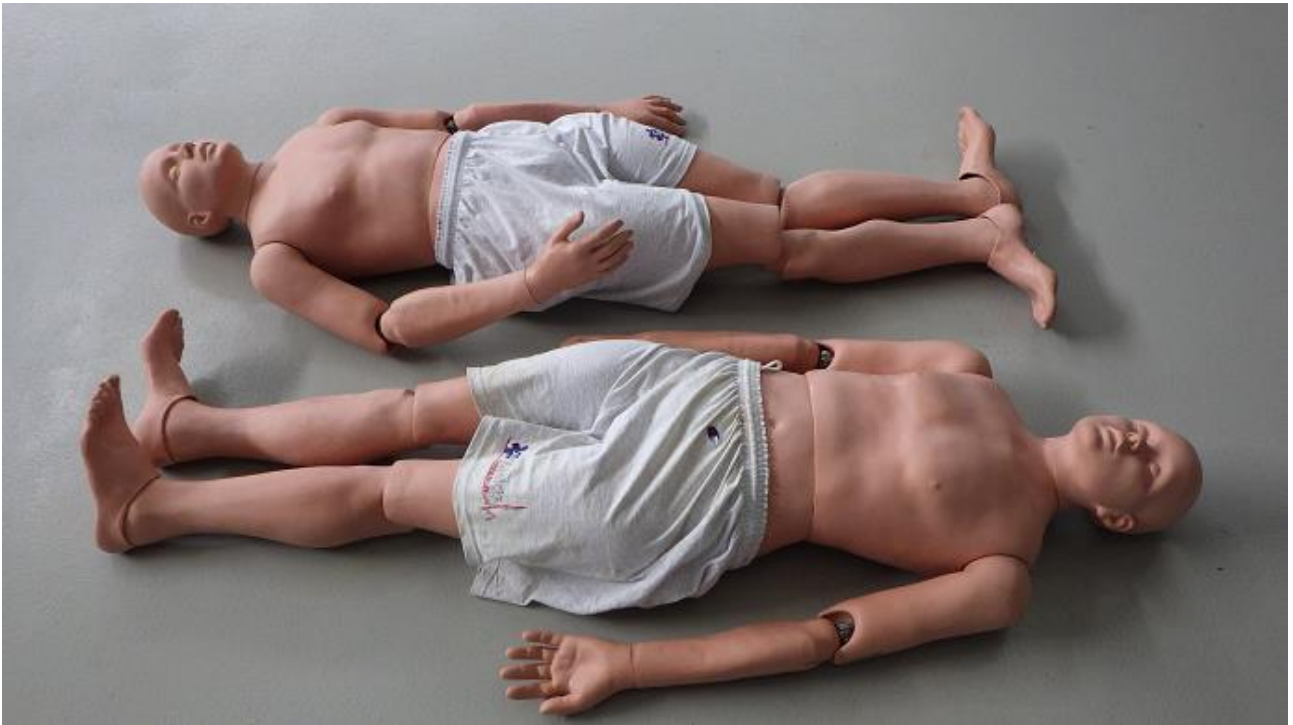
被災者模擬装置保管場所

1.3. 使用事例

- ・ 救助訓練の救助対象
- ・ 無人航空機の捜索訓練

1.4. 機器構成

- ・ 被災者模擬装置 (レスキューマネキン) 2体
- ・ ホットカーペット(125cm×125cm) 1枚
マネキン温め用(赤外線カメラ対応)



1.5. 機器詳細

被災者を模擬したマネキンになります。

メーカー名：日本スリービー・サイエンティフィック株式会社

- ・品名：レスキューマネキン 165cm/25kg
- ・品番：W44511
- ・身長：165cm
- ・重さ：25kg
- ・可動箇所：肩、肘、膝、股関節、手首、足首

2. 使用上の注意点

- ・吊って運搬する際はハーネスを利用すること。肩中央部にあるリングは使用しないこと。
- ・水難・水没救助用には使用しないこと。
- ・落下実験、衝突実験などには使用しないこと。
- ・火気のある所で使用しないこと。
- ・四肢が他の物体(ロープ、フェンス、はしご等)と絡むなど、無理な負荷がかからないようにすること。
- ・やむを得ず濡れた場合は、十分に乾燥させること。
- ・汚れはぬるま湯の石けん水などで洗浄してください。
- ・40度を超える環境下に長時間放置しないこと。
- ・重ね置きはせず、仰向けにして手足を伸ばした状態で保管すること。

以上。